

開放的な空間で、快適に省エネする住宅（エアコン1台で家中冷房）

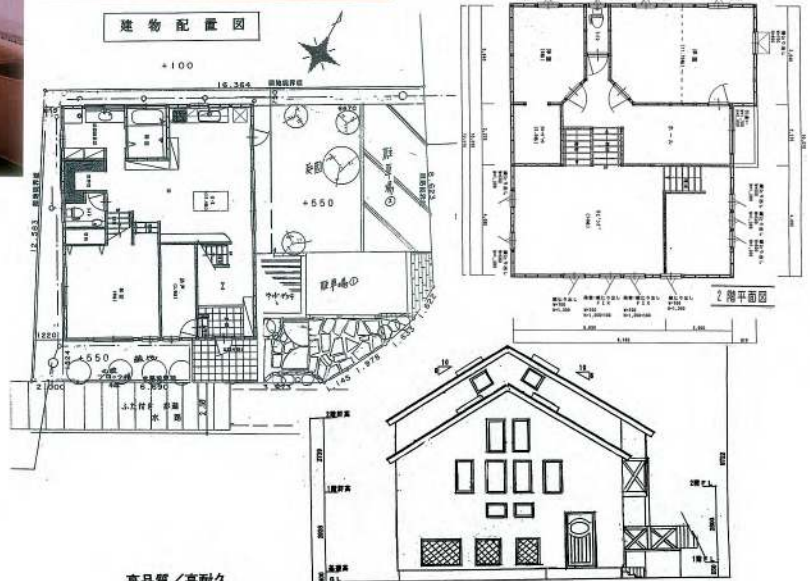
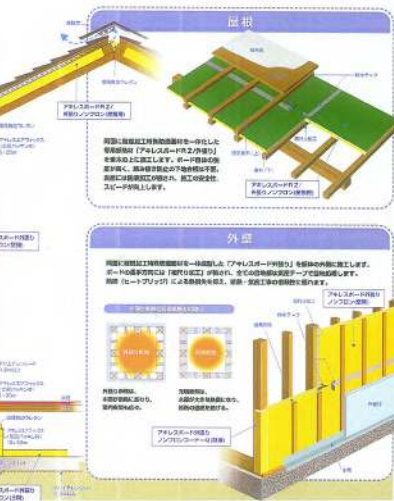


アキレス外張り工法

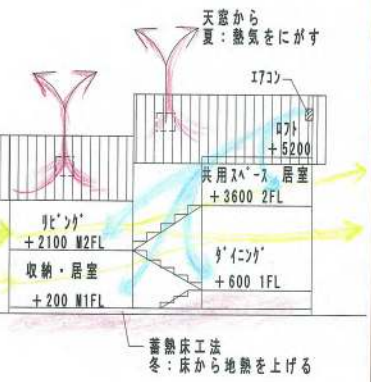
外張り工法は、省エネ・健康・快適・長寿命を追求した次世代建築工法です。

外張り断熱

- 断熱材がつかずつくりぬき窓の隙間は、断熱の弱点となりつづきます。そこで断熱材・断熱材を確保する専用の断熱材・断熱材の隙間となる断熱材の断熱材を確保。断熱材がつかずつくりぬき窓の隙間は断熱の弱点となりつづきます。そこで断熱材・断熱材を確保する専用の断熱材・断熱材の隙間となる断熱材の断熱材を確保。断熱材がつかずつくりぬき窓の隙間は断熱の弱点となりつづきます。そこで断熱材・断熱材を確保する専用の断熱材・断熱材の隙間となる断熱材の断熱材を確保。
- 断熱材がつかずつくりぬき窓の隙間は、断熱の弱点となりつづきます。そこで断熱材・断熱材を確保する専用の断熱材・断熱材の隙間となる断熱材の断熱材を確保。断熱材がつかずつくりぬき窓の隙間は断熱の弱点となりつづきます。そこで断熱材・断熱材を確保する専用の断熱材・断熱材の隙間となる断熱材の断熱材を確保。
- 断熱材がつかずつくりぬき窓の隙間は、断熱の弱点となりつづきます。そこで断熱材・断熱材を確保する専用の断熱材・断熱材の隙間となる断熱材の断熱材を確保。断熱材がつかずつくりぬき窓の隙間は断熱の弱点となりつづきます。そこで断熱材・断熱材を確保する専用の断熱材・断熱材の隙間となる断熱材の断熱材を確保。



家は家族を守る物 頑丈でなければなりません。高耐久な物 耐久性がなければなりません。できれば、居心地良く快適でありたい。



平成23年9月10日撮影

CASBEE 戸建-既存 | 評価結果

項目	評価	数値	基準
総合評価	★★★★★	90.0	90.0以上
省エネルギー	★★★★★	95.0	95.0以上
健康・快適	★★★★★	95.0	95.0以上
環境負荷低減	★★★★★	95.0	95.0以上
国土強靱化	★★★★★	95.0	95.0以上

地震に対する効果

SRC基礎を持つ建物と通常の基礎を持つ建物に、中小地震を想定した地震波を入力し、解析的に建物の振動を算定しました。SRC基礎の振動は(赤い線)、振幅(振動の大きさ)が他の基礎(青い線)に比べ小さく、また、大きな振幅の後に、振動が大きく収束していることがわかります。

環境振動に対する効果

右図は交通量の多い通りに向けた建物において振動測定を行った結果です。車両が通過すると、建物の外(青い線)では大きな振動が生じているのに対して、建物の中(赤い線)では振動が低減されていることがわかります。

高品質/高耐久

建物にとって、水平・垂直は基本です。コンクリートの広い表面を平らに均すのは難しいことですが、従来の工法では基礎部分から水平精度を高めるのは手間がかかることなのですが、これを特許工法により可能にしました。

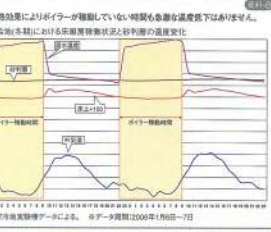
湿気をシャットアウト

下からも外からも湿気の侵入がありません。支持地盤、砂利層をコンクリートで囲う為、土中の湿気を建物に伝えません。また、湿気は水蒸気圧の高いところから低い所へ流れ(湿度)、平衡状態となるため、床下部分に過剰な湿気を溜め込みません。

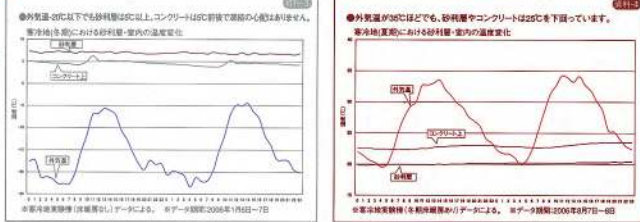
シロアリ、腐朽菌

床下に木材を使用せず、腐朽菌やシロアリの発生に必要な条件(水分、栄養分、温度、酸素)が整わないので腐食やシロアリなどによる虫食いはありません。また、コンクリートには積極的に湿気を吸う効果はなく、コンクリートに接しているだけで木が腐るといった事例はありません。土の水分を基礎のコンクリートが吸い上げ、その水分を木へ移動させることによる腐食もありません。

SRC基礎 蓄熱床工法



寒冷地でも砂利層の効果を実証されました。



冬の暖房シーズンの床下熱損失について

●SRC基礎は、床下断熱床下通気工法に比べ、約25%床下への熱損失(エネルギー)が少なくなります。

